



平成20年6月23日

各 位

会 社 名：株式会社ウェザーニューズ
 代表者名：代表取締役社長 草開 千仁
 (コード番号 4825 東証一部)
 問合せ先：SRコーナー(広報・IR)リーダー森下 良治
 TEL(043)274-5536

平成20年5月期の業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成20年5月19日付け「平成20年5月期の連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました平成20年5月期の連結業績予想、および平成19年12月26日付け「平成20年5月期中間決算短信」にて公表しました平成20年5月期の個別業績予想に差が生じたので、修正およびその主たる要因である特別損失につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

I. 20年5月期 通期(平成19年6月1日～平成20年5月31日)の業績予想の修正

1. 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,800	1,500	1,350	600
今回発表予想 (B)	11,800	1,800	1,650	850
増減額 (B-A)	-	300	300	250
増減率 (%)	-	20.0	22.2	41.7
(ご参考)19年5月期通期	11,244	486	486	3

2. 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益(△損失)
前回発表予想 (A)	9,500	1,300	1,350	500
今回発表予想 (B)	9,700	1,400	1,500	700
増減額 (B-A)	200	100	150	200
増減率 (%)	2.1	7.7	11.1	40.0
(ご参考)19年5月期通期	8,703	259	343	△396

3. 業績予想の修正理由

(連結)

当社では、マーケティング、サービス運営はグローバルセンターで、販売は現地(各国の販売会社)にて行うグローバルビジネスモデルの確立を進めてきており、前期より北米を中心に販売体制の抜本的な見直し、また、欧州においては運営・販売体制の見直しを進め、当期はこのグローバルビジネスモデル基盤のもとで重点事業を中心に成長性と収益性の改善に取り組んできました。

こうした中で、前回業績予想修正時の見込に対し、海外子会社の収益の改善が予想を上回ったこと、また、連結決算手続(親子会社間取引の消去)において、親子間の決算日差異(2ヶ月)による差額が予想に対し上回ったことなどにより、前回業績予想修正時より営業利益が300百万円増加いたしました。これに伴い、経常利益は300百万円、当期純利益は250百万円増加いたしました。

(個別)

上記海外子会社の収益が改善されてきたことに伴い、特別損失(関係会社投資等評価損)が減少したことなどにより、当期純利益は200百万円上方修正いたしました。

II. 特別損失の計上について

海外関係会社への投資等評価損(個別で約250百万円)

当社が保有する海外の関係会社への投資等のうち財政状態が悪化したものについて、評価損を計上するものであります。

なお、前期におきましては、614百万円計上いたしております。

以上